

西東三鬼のふるさと俳句投句函

令和四年八月締め 入選句

一般の部 特選

玄随のすこし猫背の猛暑かな
万緑の中心として御神木

津山市 杉山 武明
鏡野町 西村 泉

一般の部 入選

空蟬や古木がしりと掴みおり
開襟をつまみふわつと涼をとる
戻り梅雨津山の空を隠しけり
曇天を呑んで吐き出す鯉幟
長々と猫の寝そべる夏座敷
店番の声ほがらかや夏囁
境内に会釈くれたり白日傘
内緒ごと包む桔梗の蕾かな

鏡野町 藤田 明子
鏡野町 三木 章
滋賀県 いしかわ つよし
広島県 岸 直人
鏡野町 西村 なほみ
岡山市 水葉
鏡野町 三木 夏女
鏡野町 中谷 淳子

ジュニアの部

せんぷうきあーといってあそんでる
花火がね音をたてては今さいた
津山城せみの合唱にぎやかだ

津山市 奏音
倉敷市 ももつち
大阪府 津山城

(今回投句数 一九〇句)

